

日本庭園学会 The Academic Society of Japanese Garden News ニュース

令和4年(2022年)

令和4年度日本庭園学会 関西大会開催案内

発行 日本庭園学会(会長 大澤 伸啓)
〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
東京農業大学 地域環境科学部
造園科学科 庭園技法材料科学研究室
TEL(03)-5477-2428(粟野 隆理事)

令和4年度日本庭園学会関西大会開催案内

令和4年度の関西大会は、京都府京都市にて開催いたします。公開シンポジウムは「近現代の二条城—継承・創出・保存—」をテーマに開催します。

開催については対面開催とし、公開シンポジウム・研究発表会についてはリモートを併用します。

現地検討会は対面のみとし、二条城の本丸・二之丸庭園、清流園等と、明治時代に二条城本丸として移築された京都御苑内の桂宮邸跡等で行います。

リモート参加を希望される方は、誠に勝手ながら本年度の全国大会同様、事前にWeb会議システム(Zoom)を利用できるパソコン等の環境を整えてくださいますようお願いいたします。

皆様の参加をお待ちしております。

◆日程

令和4年11月5日(土)～6日(日)

◆内容

令和4年11月5日(土)

午前 研究発表会(9:45受付開始予定)

午後 公開シンポジウム

「近現代の二条城—継承・創出・保存—」

※コロナウイルス感染症の予防の観点より
情報交換会は行いません。

※理事の方々におかれましては、昼食休憩
時間中に理事会を行います。

令和4年11月6日(日)

午前 現地検討会:京都御苑(京都市上京区)

桂宮邸跡庭園・近衛邸跡庭園

午後 現地検討会:元離宮二条城

(京都市中京区二条通堀川西入二条城町541)

※非公開エリア(二条城二之丸庭園内は含まれま
せん)も併せてご案内する予定です。

なお、管理者により写真撮影、立ち入りが
禁止されている区域があります。当日の
案内に従ってくださるようお願いいたし
ます。

記

◆会場

研究発表会・公開シンポジウム

ひと・まち交流館京都 第5会議室

(京阪電車「清水五条駅」下車1番出口より
徒歩8分、地下鉄烏丸線「五条駅」下車5番
出口より徒歩10分)

現地検討会

京都御苑(旧桂宮邸庭園・旧近衛邸庭園)

京都市上京区京都御苑内

交通:京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」下車
3番出口より徒歩4分)

元離宮二条城

京都市中京区二条通堀川西入二条城町541

交通:京都市営地下鉄東西線「二条城前駅」
または市バス「二条城前」下車徒歩
約5分

◆参加費(二条城入場料は別途)

学会員:1,000円 学生会員:無料

非学会員:1,500円 非学会員学生:500円

※上記金額に資料代を含みます。

現地検討会のうち、京都御苑への
入場は無料ですが、二条城については
割引制度がありますので、窓口や
インターネット等を利用して各自で
入城券を御購入のうえご集合ください。

※公開シンポジウムのみの場合、参加費は無料
ですが、資料をご希望の場合には資料代とし
て500円が必要です。



二条城webチケット
購入サイト

令和4年度日本庭園学会関西大会 プログラム

令和4年11月5日(土)

午前の部

研究発表会(5件:発表15分、質疑応答・交代5分)

- 9:45 受付開始
 10:00～ Zoomの開放
 10:15～ 開会挨拶
 10:20～10:40 研究発表1
 10:40～11:00 研究発表2
 11:00～11:20 研究発表3
 休憩
 11:30～11:50 研究発表4
 11:50～12:10 研究発表5
 昼食休憩 理事会

午後の部

公開シンポジウム

「近現代の二条城—継承・創出・保存—」

- 13:15～ 受付開始・Zoomの開放
 13:30～ 開会挨拶
 13:35～ 話題提供1:
 「『史跡旧二条離宮(二条城)保存活用計画』(2020)の概要ならびに二之丸・本丸庭園の造営について」
 京都市文化市民局元離宮二条城事務所 今江秀史氏
- 14:15～ 話題提供2:
 「二条城の植栽と庭園の管理」
 京都市文化市民局元離宮二条城事務所 係長 近藤泰生氏
- 14:35～ 話題提供3:
 「史跡・名勝における活用の現在」
 京都芸術大学歴史遺産学科教授 杉本 宏氏
- 14:55～ 休憩

15:05～

パネルディスカッション

司会進行:

日本庭園学会 関西支部長

仲 隆裕

- ①二条城に関する新たな調査研究とその成果
 ②二条城の本質的価値とその保存管理をめぐって
 ③二条城(庭園を抱える史跡)の活用のあり方を巡って

16:00

閉会

ひとまち交流館 京都
所在地とアクセス

■所在地■

〒600-8127

京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1(河原町五条下る東側)

■交通■

【バス】

市バス4, 17, 205号系統「河原町正面」下車

【電車】

京阪電車「清水五条」下車 徒歩8分

地下鉄烏丸線「五条」下車 徒歩10分

【車】

立体駐車場 最初の1時間410円、以後30分ごとに200円

*駐車場は台数に限りがありますので、出来る限り公共の交通機関をご利用ください。

■ホームページアドレス■

<http://www.hitomachi-kyoto.jp>

令和4年11月6日（日）

現地検討会

午前の部

京都御苑（京都市上京区）

桂宮邸跡庭園・近衛邸跡庭園

（写真撮影は不可です）

- 9:30 集合 / 受付開始
場所：京都御苑内中立売休憩所
（京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」
下車 3 番出口より徒歩 4 分）
- 10:00～ 現地へ徒歩にて移動
- 10:15～ 近衛邸跡庭園の見学と令和3年度
整備の概要説明
- 10:40～ 徒歩にて移動
- 10:50～ 桂宮邸跡にて、二条城本丸御殿
として移築された桂宮本邸跡の
整備状況の見学
- 11:30 午前の部終了、各自移動

午後の部

元離宮二条城（京都市中京区）

- 13:30 元離宮二条城東大手門前集合
- 13:30～ 受付
- 13:35～ 入場
- 13:45～
- ・元離宮二条城の概要説明
 - ・近世の二条城について
国宝二之丸御殿の見学（御
殿内の写真撮影はご遠慮く
ださい）
 - ・特別名勝二条城二之丸庭園の
見学
 - ・近現代の二条城：本丸庭園の
見学と重要文化財本丸御殿の
解体修理について（工事現
場の見学はありません）
 - ・現代の二条城について
清流園ほか、バックヤード
ツアー（非公開範囲の写真
撮影は不可です）
- 16:30 解散予定

◆関西大会参加の申し込み

- ・参加者の人数制限はありません。
- ・申込期限：令和4年11月2日（水）17：00
- * 当日参加も受け付けますが、準備の都合上、
極力事前に参加申込みをお願いいたします。
- ・申込みは、ハガキ、ファクシミリ、メールの
いずれかにてお願いします。電話でのお申込みは
ご遠慮願います。
- ・リモート参加希望の方は必ず参加申込みを
お願いいたします。当日 Zoom にログイン
するための ID とパスワードをお知らせいた
します。なお、万が一、wi-fi 環境により通信
状態が芳しくない場合が生じた場合はご容赦
ください。
- ・お申し込みの際には①氏名、所属、住所、当
日連絡可能な携帯電話番号、②会員・非会員
の別（学生の方はその旨お知らせください）、
③参加プログラム（A：公開シンポジウム、
B：研究発表会、C：現地検討会午前の部、
D：現地検討会午後の部）、④リモート参加
希望者は「リモート参加希望」と記し、連絡
先メールアドレスを明記してください。
- ・参加費は当日徴収いたします。極力、つり銭の
要らないようにご協力をお願いいたします。
但し、研究発表会及びシンポジウムへリモート
参加の方は参加費もしくは資料代（希望者の
み）をお振込み願います。

<リモート参加者 参加費振込先（郵便振替）>

加入者名：日本庭園学会

口座番号：00140-3-659842

- ・申し込み先
日本庭園学会関西支部事務局
〒606-8271
京都市左京区北白川瓜生山 2-116
京都芸術大学
日本庭園・歴史遺産研究センター気付
ファクシミリ：075-791-9342
メールアドレス：naka@kua.kyoto-art.ac.jp

◆令和4年度日本庭園学会関西大会 研究発表概要

【研究発表1】

セザンヌに「見えてきた」サント＝ヴィクトワール山、身体性

森泰規（株式会社 博報堂）

後年になってあれほどサント＝ヴィクトワール山（ばかり）を描いたセザンヌは、初期にそうすることがなかった。対象として見えていなかったと述懐したともいう。その転換のきっかけとしてパリの生活を辞して、自ら山を歩いた経験があったという。

そうした身体的経験が美の発見につながったとするなら、日本庭園も同様に身体性を以て理解される必要があるのか。

【研究発表2】

米国における日本庭園のホームページにみる情報発信の現状

小山拓朗、服部勉、栗田和弥

（東京農業大学 大学院 地域環境科学研究科 造園学専攻）

米国における日本庭園ホームページに着目し、現地でどのように日本庭園が理解されているかを考察するものである。米国にある日本庭園は海外最多である。

ホームページを有する142庭園を分析対象とし、掲載内容から日本庭園の説明に使用される語句や情報発信の内容を調査し、構成材料に関する語句は植物・水・石・その他の4項目の観点で整理した。その結果から米国で注目されている日本庭園の構成材料や利用方法の特徴について考察を行った。

【研究発表3】

エリザ・シドモア (Eliza Scidmore) の “The Famous Gardens of Kioto” を通した無鄰菴庭園の本質的価値の再検証

マイケル・シャピロ (Michael Shapiro)
(植彌加藤造園株式会社 知財企画部)

本発表では、アメリカの女性ライター、エリザ・シドモアが明治45(1912)年に書いた

記事 “The Famous Gardens of Kioto” の内容を分析し、明治期の京都庭園を代表する無鄰菴の本質的価値を再検証する。

特に「野原」(wild moor)というキーワードに着目し、七代目小川治兵衛(植治)が作庭した無鄰菴とこれまで彼の作庭であったとは知られていなかった庭園の記述を比べることにより、植治が認識していた無鄰菴の本質的価値をシドモアの記事が間接的に示している可能性を検討する。

【研究発表4】

大阪府島本町所在・水無瀬殿保存問題の現状
大澤伸啓 (立正大学非常勤講師)

大阪府島本町にかつて所在した水無瀬殿は、後鳥羽上皇がこよなく愛した離宮である。本学会では、2020年に島本町に対し、水無瀬殿の保存と活用を図るよう緊急提言を行った。しかしながら、その後も遺跡の解明は進んでおらず、区画整理事業が進捗し、保存に対する手立ては講ぜられていない。

本発表では水無瀬殿保存問題に関する現状について報告する。水無瀬殿が消滅する危機にあることを共有し、保存に動き出すことを心から願う。

【研究発表5】

浜離宮恩賜庭園における庭園活用に関する今後の展望

—観月イベントを事例として考える—

菊池正芳 (東京都慰霊協会)

浜離宮庭園は、平成29年3月に東京都の文化財庭園の中でも最初に保存活用計画が作成された庭園であり、護岸や橋、御茶屋など修復復元事業が先行して実施されている庭園である。

東京都の文化財庭園の保存管理活用を考えるにあたり、どのような活用策が実施されているのかを検証するとともに、文化財庭園の活用策が今後文化財庭園を次世代に引き継いでいくためにも、どのような効果が期待できるのかについて検証する。

U30 懸賞論文授賞式並びに記念シンポジウムに出席して

東京農業大学大学院 地域環境科学研究科造園学専攻 板村東磨

U30 懸賞論文並びにこのような執筆の機会を頂けたこと、心より感謝申し上げます。

U30 懸賞論文授賞式は9月3日（土）に東京農業大学グリーンアカデミー（東京都世田谷区）で行われた。受賞者は筑波大学で情報学を専攻している大学院生・矢倉大夢さん、京都の植彌加藤造園で活躍されている女性の職人の半田沙奈絵さん、東京農業大学で造園学を専攻している大学院生・板村東磨の3名であった。3人とも違う視点、違う特徴が出ている論文を執筆しておりとても興味の湧くものであった。

式は受賞論文の発表講演とその後に司会進行を栗野隆教授（東京農業大学）が行い、質問とトークセッションの形式の2部構成で行われた。トークセッションの際にはZoomからも庭園の研究をされている先生方が参加され話が膨らむとともに現地で参加していた東京農業大学の学生が挙手をして質問や意見を発言する場面も見られ終始盛り上がりが見えた。矢倉さんの発表からは分野に縛られず柔軟に対応し分析する能力の必要性を、半田さんからは庭園は成長するだけでなく人を育ててきており、現在まで日本人を育ててきたのだと強く感じさせられた。

今回の企画は若い人たちにチャンスを与えてくれる機会であり、考えや視点の異なる方も交流できる大変貴重な機会を頂くことができたと思っている。これからも若い世代から庭園の分野を盛り上げることのできる企画などを実施してほしいと感じた。

また今回は庭園を専攻している人だけでなかったことも大変良いことであると感じた。庭園という日本の古来からのものと情報工学という最新で先端に行くもの。今後も庭園や造園からの視点で庭園を見るのではなく、他分野などの新たな視点や思想を庭園学会を通して庭園や造園の学問の中に取り入れてより成長ができたらと感じるものである。

日本庭園学会に関しては学会の立場として庭園学を確立し、より深く充実した研究を世に公表するとともに、庭園や造園だけでなく周りの新たな情報や視点をいち早く吸収し庭園業界の成長を促進することのできる学会になってほしいと思っている。また若者に対して庭園の魅力を共有し、より多くの学生や若い方を取り込み、学会を盛り上げるとともに、その若者達をバックアップし庭園に関わって生きていきたいと思えるような将来性や向上心を引き立たせることのできる学会になることを学生という立場からは願うとともに期待をしている。

最後になりますが庭園学会創立30周年おめでとうございます。今後の成長と活躍をお祈りいたします。

【会費納入のお願い】

学会費の納入額をご確認のうえ、納入のほどよろしくお願ひします。また、過年度滞納の方は併せて納入のほどよろしくお願ひします。

協力者：森本・細井（植彌加藤造園株式会社）

日本庭園学会広報委員会

今江秀史、加藤友規

〒606-8271 京都市左京区北白川瓜生山2-1

京都芸術大学日本庭園研究センター気付

日本庭園学会関西支部事務局 FAX(075)791-9342

全館フロアマップ

